

厚真町立厚真中学校



校長 渋川 賢一

生徒数 67名

学級数 6(3)学級

職員数 16名



— 高みを目指し、挑戦し続ける学校経営 —

「豊かな心を持ち、自ら学び、明るくたくましく生きる生徒」の育成を目指し、英語教育の推進や、家庭や地域との連携・協働による教育活動の充実に努めている。

特に、平成27年度からは、文部科学省「教育課程特例校」として、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上に取り組むとともに、地域人材を活用し、学力向上や生活習慣改善の取組を充実させるなど、特色ある教育活動の推進に大きな成果を上げている。



ー グローバル社会を生き抜く力を養う「コミュニケーション科」 ー

夢や希望をもってグローバル社会を生き抜く力を養うため、小学校と連携した9年間の計画的・系統的な英語教育によりコミュニケーション能力の育成に努めている。

特に、新教科である「コミュニケーション科」では、外国人に対して厚真町の特色や特産品などを英語で紹介したり、日常生活の場面を設定して即興でやり取りしたりするなどの学習を充実し、実生活で活用できる英語能力の育成に成果を上げている。



ー 学校、家庭、地域の連携による教育活動 ー

コミュニティスクールの導入や家庭と連携した学力向上の取組、地域人材を活用した土曜授業の実施など、様々な教育課題の解決に向けて家庭や地域との連携に努めている。

特に、地域人材を講師とした体験的な学習、家庭と連携した生活リズムチェックシートの取組、地域の大学生の支援による長期休業中の学習会の開催などを通して、主体的に学ぶ態度の育成や生活習慣、学習習慣の改善に成果を上げている。



ー 子どもの将来を見据えた教育活動を ー



教職員が生徒との強い信頼関係のもと、意欲を高める魅力ある授業を行っており、生徒が学ぶことの意義を理解し、楽しく学ぶ姿を見て、保護者としてうれしく思います。

また、英語の研究大会に参加した際、生徒が生き生きと英語でコミュニケーションを図っている姿を見て、小・中学校が連携して生徒の英語力育成のために熱心に取り組んでくれている成果を感じ、うれしく思いました。

(保護者の声)